

# わたしたちのマチの 景況レポート No. 13

2018年1～3月期実績・2018年4～6月期見通し



淡路人形浄瑠璃

【業種別天気図】

業種	全事業地区			淡路地区			神明地区		
	2017年 10~12月 (前期)	2018年 1~3月 (今期)	2018年 4~6月 (見通し)	2017年 10~12月 (前期)	2018年 1~3月 (今期)	2018年 4~6月 (見通し)	2017年 10~12月 (前期)	2018年 1~3月 (今期)	2018年 4~6月 (見通し)
総合									
製造業									
卸売業									
小売業									
サービス業									
建設業									
不動産業									

調査地区：淡路信用金庫の事業地区

洲本市、淡路市、南あわじ市、明石市、神戸市、芦屋市、西宮市、  
尼崎市、加古郡稲美町、加古郡播磨町、加古川市、高砂市、三木市

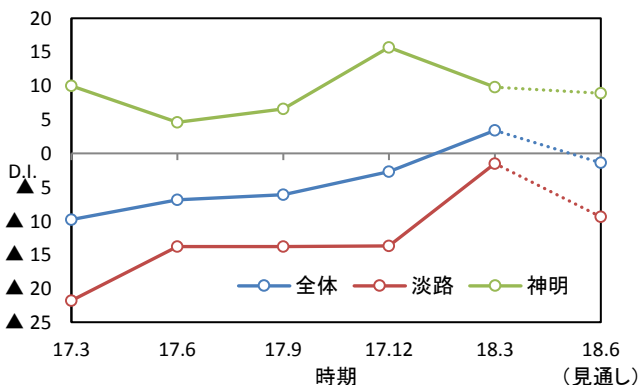
全業種



○業況

今期（18年3月期）の業況は3.4と15年3月期の調査開始以来、はじめてプラスに転じた。業種別に見ると卸売業、小売業をのぞく4業種でプラスとなった。一方で、原材料価格の上昇に加え、人手不足の深刻化への懸念から、来期（18年6月期）の業況見通しは4.8割低下の▲1.4と楽観視していない様子。

業況判断D.I.の推移（地区別）



(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	-2.7	3.4	-1.4
売上額(前期比)	-1.1	-2.9	2.1
収益(前期比)	-5.7	-8.1	-1.0
販売価格(前期比)	3.4	8.9	2.3
仕入価格(前期比)	27.0	35.8	27.2
人手過不足(過剰-不足)	-30.3	-32.1	-30.8
資金繰り(楽-苦)	-0.8	-1.9	-1.7
設備投資実施企業割合(%)	22.5	20.8	25.0

# 製造業



## ○業況

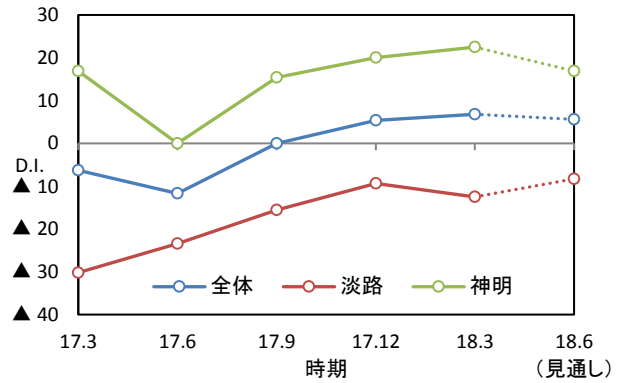
今期の業況はプラス 6.8 と 3 期連続上昇した。一方、収益面では仕入価格が上昇を強め、「減少」が「増加」を上回るマイナスに転じた。人手不足も▲31.1 と過去最低の水準となった。なお、業況は来期も 5.6 と好調を維持する見通し。

### お客様の声

春先は取引先の商品リニューアルが活発になるため、業況は良い。受注は増加しているが、それに伴い工場が手狭になってきている。加えて設備の老朽化も重なり生産効率は良いとは言えない。設備導入にもものづくり補助金等を活用したい。(洲本市)

得意先が海外からの受注を確保したことにより向こう 3 年以上の売上の目途が立っている。昨年導入した設備の効果も表れつつあり、更なる設備の更新も検討中。(神戸市)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	5.4	6.8	5.6
売上(前期比)	7.8	-1.9	7.5
収益(前期比)	6.2	-6.8	7.5
販売価格(前期比)	0.8	8.7	7.5
仕入価格(前期比)	39.4	45.2	40.1
人手過不足(過剰-不足)	-24.8	-31.1	-36.0
資金繰り(楽-苦)	0.8	-7.5	-1.9
設備実施企業割合(%)	19.5	20.5	28.7

# 卸売業



## ○業況

今期の業況は▲6.7 (前期は▲14.7) と幾分和らいだ。収益面では販売価格上昇するも仕入価格も 10 ㊦超上昇しており、収益改善には至っていない。人手不足は▲20.2 と 16 年 6 月ぶりの深刻な水準となった。来期の業況は 3.8 ㊦改善し▲2.9 となる見通し。

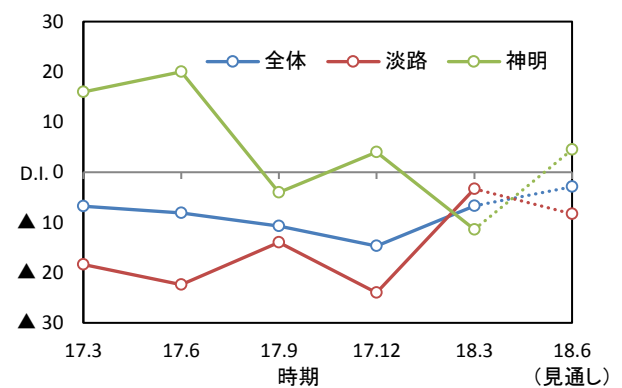
### お客様の声

大手ホームセンター等との競合上、情報力の強化及び小口注文の多頻度配送の効率化が必要。

Facebook を立ち上げ他店との差別化を図っている。(南あわじ市)

1 月～3 月にかけて主力販売先からの受注が集中する傾向にあるが、中国向け工作機械の製造量増加に伴う半導体等の供給量不足により仕入単価が上昇している。(神戸市)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	-14.7	-6.7	-2.9
売上額(前期比)	-14.7	-18.3	5.8
収益(前期比)	-13.3	-14.4	-1.0
販売価格(前期比)	9.3	21.2	9.6
仕入価格(前期比)	14.7	28.8	17.3
人手過不足(過剰-不足)	-16.4	-20.2	-23.3
資金繰り(楽-苦)	-4.0	6.7	4.8
設備投資実施企業割合(%)	21.6	19.8	17.8

# 小売業



## ○業況

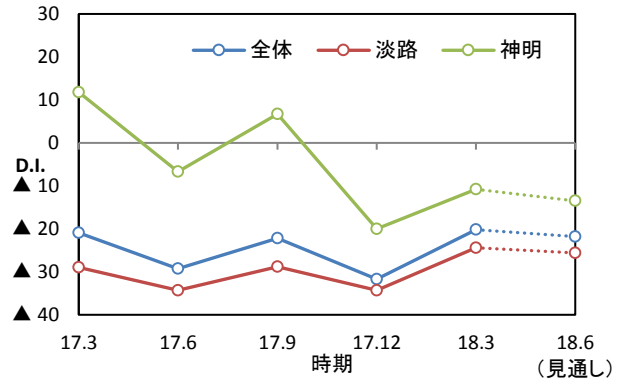
今期の業況は10割超改善するも▲20.2と依然厳しい状況が続いている。収益面では、販売価格の上昇が一服するなか仕入価格は上昇を強め、売上額は▲20.2、収益は▲26.1と各々低下した。来期も▲21.8と見通しは厳しい。

### お客様の声

商圏人口の減少、地場産業の衰退に危機感を感じている。業績維持のため、積極的な営業活動を行い、従業員と共に「10ヵ年計画」を策定し共有している。  
(洲本市)

医療報酬の改定が実施されるため1月～3月はシステムソフトの更新や中古機器の需要が増えているが、反動による4月以降の売上減少を心配している。  
(西宮市)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	-31.7	-20.2	-21.8
売上額(前期比)	-17.1	-20.2	-12.6
収益(前期比)	-23.2	-26.1	-16.8
販売価格(前期比)	14.6	12.6	-5.9
仕入価格(前期比)	25.6	30.3	16.0
人手過不足(過剰-不足)	-27.2	-14.4	-14.3
資金繰り(楽-苦)	-18.3	-13.4	-10.9
設備投資実施企業割合(%)	13.2	15.9	15.0

# サービス業



## ○業況

今期の業況はプラスの6.5(前期は▲4.5)と好転した。収益面では、販売価格の「上昇」が「低下」を上回るも仕入価格も高止まりし、売上額・収益ともマイナスで、改善には至っていない。人手不足は▲44.7と過去最低の水準となった。来期の業況は3.3とプラスを維持する見通し。

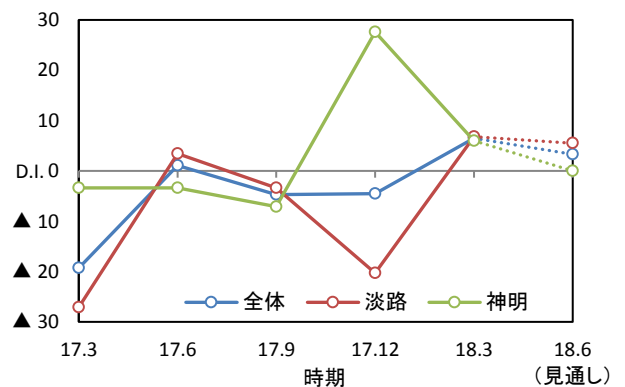
### お客様の声

地域の介護ニーズに応じた業容拡大により増収・増益が見込まれる。政府が掲げる「地域包括ケアシステム」の実現に対応できるよう明確なビジョンを持っている。  
(洲本市)

日本遺産認定の恩恵を受け、伊弉諾神宮観光後の団体客や個人客が増加傾向にある。  
(南あわじ市)

東京築地よりの仕入が可能となった。大阪圏の市場よりも安価に仕入れることができるようになり利益率が向上した。  
(明石市)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	-4.5	6.5	3.3
売上額(前期比)	-2.3	-3.3	14.8
収益(前期比)	-3.4	-8.9	10.7
販売価格(前期比)	-1.1	4.9	3.3
仕入価格(前期比)	28.4	25.4	14.9
人手過不足(過剰-不足)	-39.1	-44.7	-39.8
資金繰り(楽-苦)	-3.4	-5.7	2.5
設備投資実施企業割合(%)	22.6	22.4	31.1

# 建設業



## ○業況

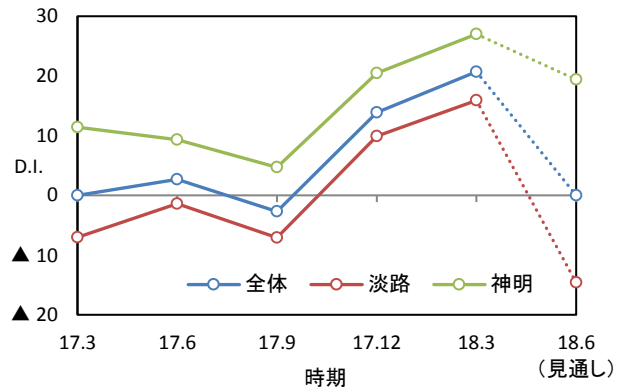
今期の業況は 6.8 點改善の 20.7 と上向く一方で、人手不足は▲51.7 と深刻さが極まっている。収益については好転したものの仕入価格が大きく上昇したのは気になるところである。なお、来期の業況は 0.0 と慎重な見通し。

### お客様の声

小規模ながら売上・利益とも安定しており、今期の受注は前年同期比 15%アップ。要の従業員が高齢化しており、退職後の人材確保・育成が課題。(南あわじ市)

一般個人向け住宅建築・リフォームを行っている。ホームページ新設により問合せが増加、受注に至っている。併せて認知度向上に向け、展示会の開催を強化している。(明石市)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	13.9	20.7	0.0
売上額(前期比)	12.2	15.9	-12.4
収益(前期比)	-1.7	4.1	-15.2
販売価格(前期比)	0.0	2.8	-4.8
仕入価格(前期比)	27.0	48.3	42.1
人手過不足(過剰-不足)	-49.6	-51.7	-41.4
資金繰り(楽-苦)	12.2	8.3	-3.4
設備投資実施企業割合(%)	32.2	24.5	28.7

# 不動産業



## ○業況

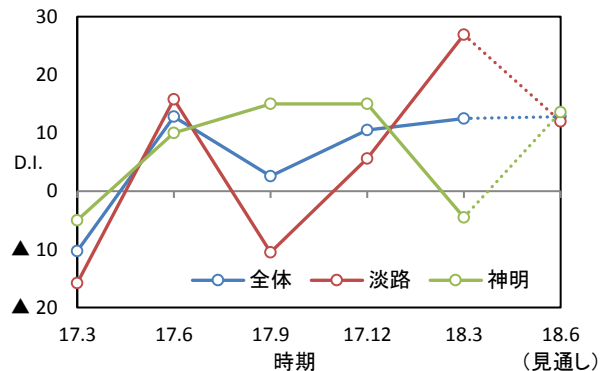
今期の業況は 12.5 (前期は 10.5) で、4 四半期連続好調を維持している。販売価格が上昇に転じ、売上額・収益ともに「増加」が「減少」を上回った。

### お客様の声

3月を迎え不動産取引が活発化している。中には島外からの移住希望者や新規事業の話もあり淡路島の活性化に期待している。(淡路市)

土地価格が高騰しており商品土地の仕入が困難になってきている。神戸市中央区、灘区、東灘区では坪単価 150 万円程度の物件が多くリスクが高いため、兵庫区などの土地の検討も必要。近隣不動産業者との情報交換を大切にしている。(神戸市)

業況判断 D. I. の推移 (地区別)



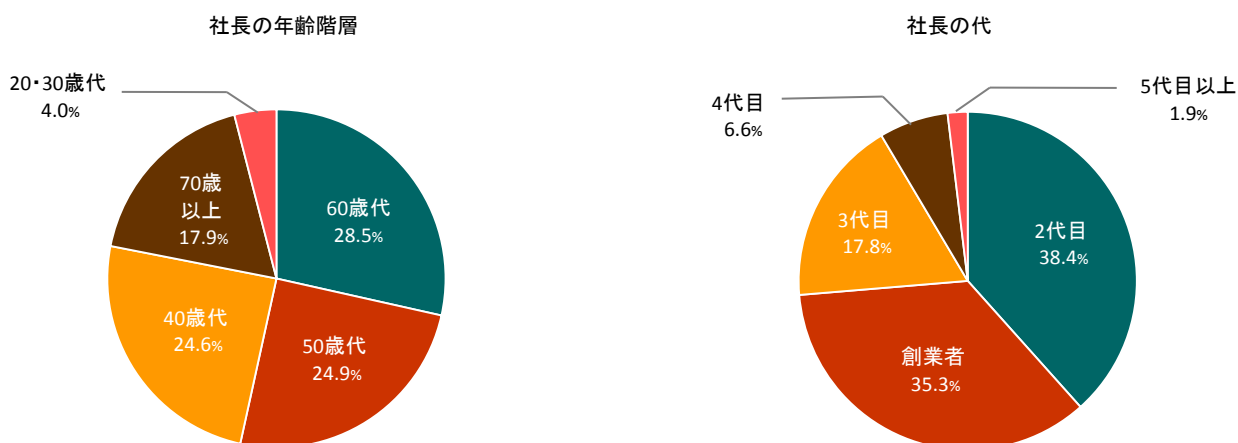
(D.I.)

	17年12月 (前期)	18年3月 (今期)	18年6月 (見通し)
業況	10.5	12.5	12.8
売上額(前期比)	-7.9	14.6	25.5
収益(前期比)	-10.5	10.4	23.4
販売価格(前期比)	-2.7	2.1	8.7
仕入価格(前期比)	8.3	21.7	20.0
人手過不足(過剰-不足)	-2.7	-13.0	-15.2
資金繰り(楽-苦)	5.3	6.3	2.1

問1 経営者（社長）の年齢と社長の代

経営者（社長）の年齢層については、「60歳代（28.5%）」が最も高く、「50歳代（24.9%）」が続いた。「20歳代・30歳代」の若手経営者は4.0%と最も少なかった。

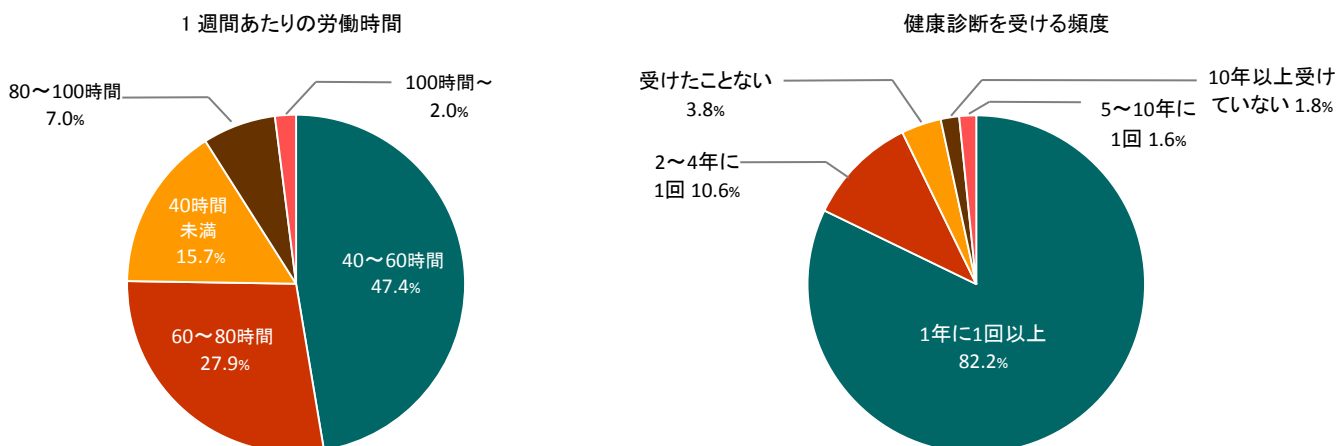
社長の代については「2代目（38.4%）」が最も多く、「創業者（35.3%）」が続いた。



問2 週あたり労働時間と健康診断の頻度

経営者の1週間当たりの労働時間については、「40時間～60時間（47.4%）」が約半数を占めた。また、「100時間以上」も2.0%あり、経営者自身の労働が過重になっている企業が見受けられた。

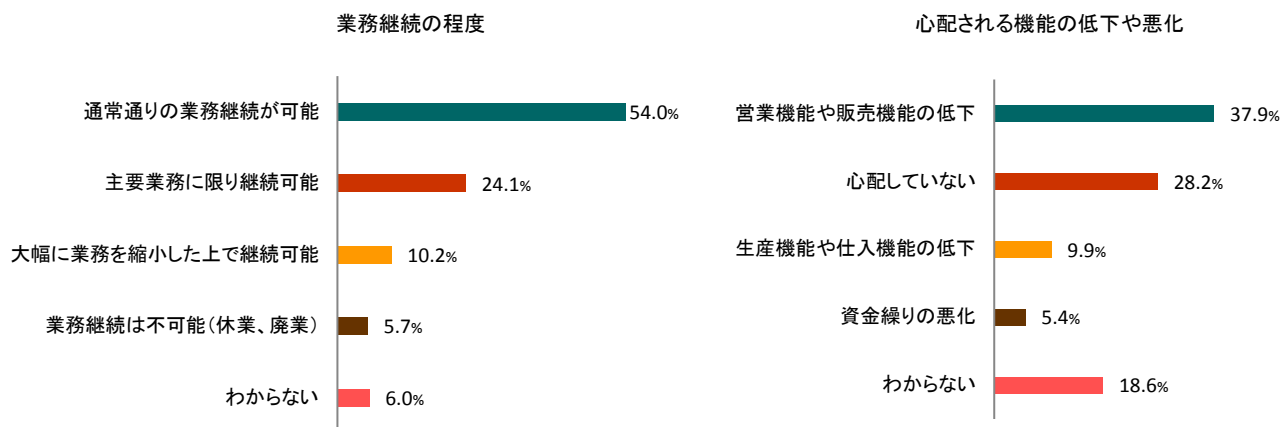
健康診断を受ける頻度については、「1年に1回以上」が82.2%と高い割合を占めたものの、「5～10年に1回（1.6%）」、「10年以上受けていない（1.8%）」、「受けたことがない（3.8%）」との回答も見られた。従業員規模別に見ると、30人未満の企業では1年に1回以上健康診断を受診していない経営者も見られ、小規模事業者において経営者の受診促進が望まれる。



### 問3 経営者休養時の業務継続と機能低下

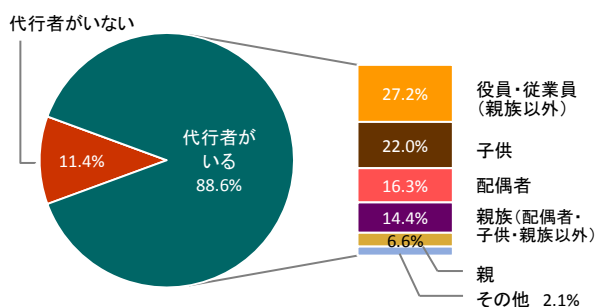
経営者がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとき、業務継続については、「通常通りの業務継続が可能（54.0%）」が過半数を占め、従業員規模が大きくなるほどその割合は高くなる傾向が見られた。一方、「業務継続は不可能（休業、廃業）」は5.7%あり、従業員1～4人の企業では12.1%、小売業では10.1%と高かった。

同様の仮定で心配される機能の低下や悪化については、「営業機能や販売機能の低下（37.9%）」が最も高く、「心配していない（28.2%）」、「わからない（18.7%）」と続いた。



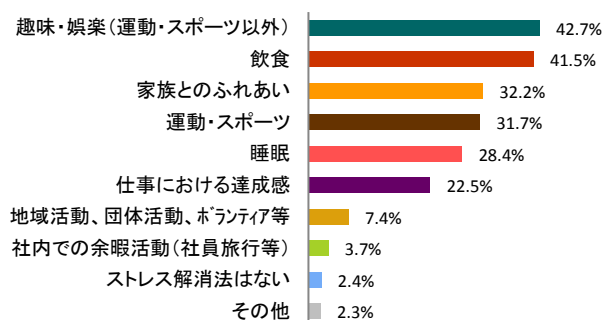
### 問4 経営者の代行者の有無

経営者がケガや病気等で1か月間の休養を余儀なくされたとき、経営者の代行者の有無については、「代行者がいる」が88.6%であった。内訳を見ると、子供（22.0%）、配偶者（16.3%）などの親族が全体の59.3%を占め、「親族以外の役員・従業員」は全体の27.2%であった。一方、「代行者がいない」は11.4%で、内訳は「自分の代わりはいない」が10.7%、「休廃業するから代わりは必要ない」が0.7%であった。自分の代わりはいないとの回答は従業員規模が小さい企業ほど多く、代行者の育成を含めた体制整備が必要であると思われる。



### 問5 経営者のストレス解消法

経営者のストレス解消法については、「趣味・娯楽（運動・スポーツ以外）」が42.7%と最も高く、以下、「飲食（41.5%）」、「家族とのふれあい（32.2%）」、「運動・スポーツ（31.7%）」、「睡眠（28.4%）」と続いた。経営者によってストレス解消法は様々で、「ストレス解消法はない」との回答は2.4%であった。



(備考) 最大3つまで複数回答

## 調査概要

- ・調査対象期間：2018年1～3月期実績 2018年4～6月期見通し
- ・調査企業数：705企業（有効回答数700企業 回答率99.2%）

	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業	地区合計
淡路地区	72	60	82	73	82	26	395
神明地区	89	44	37	50	63	22	305
業種合計	161	104	119	123	145	48	700

- ・分析方法：売上、収益、価格、人手不足、資金繰り、設備等の各質問項目について、D. I. (Diffusion Index、ディフュージョン・インデックス) に基づき分析

※D. I. = 「良い（増加）（上昇）」と回答した企業割合－「悪い（減少）（下降）」と回答した企業割合により算出し、不変部分を除き「増加」と回答した企業と「減少」と回答した企業のどちらの力が強いかを時系列的に並べる方法で、景気動向調査に多く利用されております。

## かわら版

### ～補助金のご案内～

#### 1. サービス等生産性向上 IT 導入支援事業

6/4 締切

##### ■概要

業務効率化や、新たな顧客獲得等の売上向上に資する IT の導入支援を行います。

具体的には、簡易税務・会計処理、POS マーケティング、簡易決裁、在庫・仕入管理、顧客情報管理・分析等において、IT ツールを導入するための経費の一部を補助します。

■補助額、補助率 補助額：15～50 万円、補助率：1/2

##### ■補助対象

補助金 HP に公開されている IT ツール（ソフトウェア、サービス等）が対象（ハードは対象外）。相談対応等のサポート費用やクラウドサービス利用料等を含みます。

詳細ホームページ <https://www.it-hojo.jp/>

#### 2. 小規模事業者持続化補助金（宿泊業は、常時使用する従業員数が 20 人以下に限る）

5/18 締切

##### ■概要

小規模事業者が、商工会・商工会議所の支援を受けて経営計画を作成し、その計画に沿って取り組む販路開拓等を支援します。

■補助額、補助率 補助額：上限 50 万円、補助率 2/3

##### ■補助対象となり得る取組事例

新たな販促用 PR、国内外の展示会への参加、新商品の開発、ブランディングの専門家から新商品開発に向けた指導・助言・店舗改装、バリアフリー化工事など

詳細ホームページ <http://www.chusho.meti.go.jp/keiei/shokibo/2018/180309jizoku.htm>